令和7年度ダイオキシン類常時監視結果について

1 ダイオキシン類常時監視結果の概要

大気は 3 地点で調査を実施し、全ての地点で環境基準を達成した。

公共用水域水質・底質は 20 地点(河川 9 地点、海域 11 地点)で調査を実施し、全ての地点で環境基準を達成した。

地下水は 10 地点で調査を実施し、全ての地点で環境基準を達成した。

土壌は 18 地点(一般環境 10 地点、発生源周辺 8 地点)で調査を実施し、全ての地点で環境基準を達成した。

表 令和 7 年度和歌山県ダイオキシン類常時監視結果一覧

調査項目		区分	測定地点数	測定結果(毒性等量) 平均値	中央値	最小値	最大値	環境基準	単位
大気		一般環境	3	0.013	0.0058	0.0036	0.043	0.6	pg-TEQ/m^3
公共用水域	水質	河川及び海域	20	0.094	0.073	0.062	0.23	1	pg-TEQ/L
		河川	9	0.12	0.075	0.065	0.23		
		海域	11	0.071	0.064	0.062	0.089		
	底質	河川及び海域	20	6.3	1.9	0.61	41	150	pg-TEQ/g
		河川	9	4.5	0.78	0.61	27		
		海域	11	7.7	3.4	0.75	41		
地下水		—	10	0.094	0.064	0.062	0.27	1	pg-TEQ/L
土壌		一般環境	10	0.27	0.0098	0.0030	1.6	1,000	pg-TEQ/g
		発生源周辺	8	0.48	0.33	0.0024	1.3		

備考:毒性等量の算出には、WHO-TEF(2006)を用いている。

表 2 令和 6 年度ダイオキシン類に係る全国の環境調査結果(令和 8 年 3 月環境省)

調査項目		測定地点数	測定結果(毒性等量) 平均値	最小値	最大値	環境基準	単位
大気		521	0.013	0.0017	0.32	0.6	pg-TEQ/m^3
公共用水域	水質	1,264	0.20	0.0086	2.6	1	pg-TEQ/L
	底質	1,002	5.8	0.035	290	150	pg-TEQ/g
地下水		442	0.049	0.0073	0.93	1	pg-TEQ/L
土壌		658	2.0	0	130	1,000	pg-TEQ/g

備考 1:平均値、最小値及び最大値は、各地点の年間平均値の平均値、最小値及び最大値

備考 2:毒性等量の算出には、WHO-TEF(2006)を用いている。

環境省報道発表リンク:https://www.env.go.jp/press/press_03410.html



図 1　ダイオキシン類常時監視調査地点図

2　大気調査結果

大気について、一般環境の調査地点として 3 地点で、夏季、冬季の年 2 回、調査を実施した。

結果は表 3 のとおりであり、ダイオキシン類濃度の平均値は 0.013pg-TEQ/㎥、濃度範囲は 0.0036～0.043pg-TEQ/㎥で、全ての調査地点で環境基準（0.6pg-TEQ/㎥）を達成した。

また、表 2「令和 6 年度ダイオキシン類に係る全国の環境調査結果」の大気濃度 0.0017～0.32pg-TEQ/㎥の範囲内であった。

表 3　常時監視調査結果(大気)

No.	調査地点		調査結果（毒性等量）(pg-TEQ/㎥)				
	調査地点名称	所在地	夏季		冬季		平均
			測定日	結果	測定日	結果	
1	那賀総合庁舎	岩出市	R7.7.7 ～R7.7.14	0.0049	R7.12.11 ～R7.12.18	0.0066	0.0058
2	湯浅保健所	湯浅町		0.015		0.042 (二重測定: 0.043)	0.029
3	東牟婁総合庁舎	新宮市	R7.7.8 ～R7.7.15	0.0036	R7.12.12 ～R7.12.19	0.0038	0.0037

【環境基準　大気：0.6pg-TEQ/㎥】

備考：毒性等量の算出には、WHO-TEF(2006)を用いている。

3 公共用水域水質及び底質調査結果

公共用水域の水質について、20 地点（河川 9 地点、海域 11 地点）で調査を実施した。そのうち、過去のダイオキシン類環境調査において環境基準を超過した海南地区の 3 地点（日方川 新湊橋、山田川 海南大橋、海南海域 St.2）は夏季、冬季の年 2 回、その他の地点は夏季に年 1 回、調査を実施した。

結果は表 4 及び表 5 のとおりであり、ダイオキシン類濃度の平均値は 0.094pg-TEQ/L、濃度範囲は 0.062～0.23pg-TEQ/L で、全ての調査地点で環境基準（1pg-TEQ/L）を達成した。

また、表 2「令和 6 年度ダイオキシン類に係る全国の環境調査結果」の公共用水域水質濃度 0.0086～2.6pg-TEQ/L の範囲内であった。

公共用水域の底質について、20 地点(河川 9 地点、海域 11 地点）で調査を実施した。水質と同様に海南地区の 3 地点（日方川 新湊橋、山田川 海南大橋、海南海域 St.2）で夏季、冬季の年 2 回、その他の地点は夏季に年 1 回、調査を実施した。

ダイオキシン類濃度の平均値は 6.3pg-TEQ/g、濃度範囲は 0.61～41pg-TEQ/g で、全ての調査地点で環境基準（150pg-TEQ/g）を達成した。

また、表 2「令和 6 年度ダイオキシン類に係る全国の環境調査結果」公共用水域底質濃度 0.035～290pg-TEQ/g の範囲内であった。

表 4 常時監視調査結果（河川）

No.	調査地点			調査結果（毒性等量）		
	調査地点名称		所在地	採取日	水質 （pg-TEQ/L）	底質 （pg-TEQ/g）
1	橋本川	橋本橋	橋本市	R7.8.5	0.073	-
2	貴志川	北島橋	紀の川市	R7.8.4	0.18 (二重測定:0.16)	-
3	日方川	新湊橋	海南市	R7.8.5 R8.1.14	0.23 0.078	7.2 8.6
4	山田川	海南大橋	海南市	R7.8.4 R8.1.14	0.16 0.12 (二重測定:0.11)	27 18
5	有田川	保田井堰	有田市	R7.7.22	0.066	-
6	日高川	若野橋	日高川町	R7.7.22	0.065	-
7	南部川	南部大橋	みなべ町	R7.7.22	0.074	-
8	古川	古川橋	みなべ町	R7.7.22	0.20	0.78
9	左会津川	会津橋	田辺市	R7.7.23	0.075 (二重測定:0.074)	-
10	富田川	富田橋	白浜町	R7.7.23	-	0.62
11	日置川	安宅橋	白浜町	R7.7.23	-	0.61
12	古座川	古座橋	串本町	R7.7.23	-	1.5
13	太田川	下里大橋	那智勝浦町	R7.7.23	-	0.61
14	那智川	川関橋	那智勝浦町	R7.7.23	-	0.63
15	二河川	二河橋	那智勝浦町	R7.7.23	-	1.1 (二重測定:1.0)

【環境基準 水質:1pg-TEQ/L, 底質:150pg-TEQ/g】

備考:毒性等量の算出には、WHO-TEF(2006)を用いている。

表 5　常時監視調査結果(海域)

No.	調査地点			調査結果(毒性等量)		
	調査地点名称		所在地	採取日	水質 (pg-TEQ/L)	底質 (pg-TEQ/g)
1	海南海域	St.2	海南港	R7.8.4 R8.1.14	0.089 0.094	41 54
2		St.3	海南港	R7.8.4	0.072	12
3		St.4	海南港	R7.8.4	-	5.9
4	下津初島海域	St.1	下津港	R7.7.22	-	11
5		St.5	初島沖	R7.7.22	-	1.2
6		St.7	初島沖	R7.7.22	-	0.95
7		St.8	有田川河口	R7.7.22	-	3.4
8	湯浅海域	St.2	湯浅広港	R7.7.22	-	3.8
9		St.3	栖原漁港沖	R7.7.22	-	2.3
10		St.5	湯浅広港沖	R7.7.22	-	2.7 (二重測定:2.6)
11	由良海域	St.6	由良港沖	R7.8.5	-	0.75
12	日高海域	St.3	日高港沖	R7.8.6	0.086	-
13	田辺海域	St.1	文里港	R7.7.23	0.064	-
14		St.3	田辺漁港	R7.7.23	0.064	-
15		St.4	田辺湾	R7.7.23	0.064	-
16	串本海域	St.4	串本漁港沖	R7.7.23	0.062 (二重測定:0.062)	-
17	勝浦海域	St.2	森浦湾	R7.7.24	0.063	-
18		St.6	勝浦湾	R7.7.24	0.071 (二重測定:0.069)	-
19	三輪崎海域	St.1	新宮港	R7.7.24	0.079	-
20		St.2	新宮港	R7.7.24	0.063	-

【環境基準　水質:1pg-TEQ/L, 底質:150pg-TEQ/g】

備考:毒性等量の算出には、WHO-TEF(2006)を用いている。

4 地下水調査結果

地下水について、10 地点で年 1 回調査を実施した。

結果は表 6 のとおりであり、ダイオキシン類濃度の平均値は 0.094pg-TEQ/L、濃度範囲は 0.062～0.27pg-TEQ/L で、全ての調査地点で環境基準（1pg-TEQ/L）を達成した。

また、表 2「令和 6 年度ダイオキシン類に係る全国の環境調査結果」地下水濃度 0.00073～0.93pg-TEQ/L の範囲内であった。

表 6 常時監視調査結果（地下水）

No.	調査地点		調査結果（毒性等量）	
	市町村	所在地	採取日	結果（pg-TEQ/L）
1	海南市	鳥居	R7.9.2	0.19
2	紀の川市	桃山町黒川	R7.9.1	0.062
3	かつらぎ町	上天野	R7.9.1	0.062
4	橋本市	高野口町上中	R7.9.1	0.27
5	有田市	宮原町新町	R7.9.8	0.062
6	日高町	萩原	R7.8.4	0.064
7	御坊市	島	R7.8.4	0.063
8	田辺市	目良	R7.8.5	0.064
9	新宮市	佐野	R7.8.5	0.069 (二重測定:0.069)
10	古座川町	下露	R7.8.5	0.063

【環境基準　水質:1pg-TEQ/L】

備考 ： 毒性等量の算出には、WHO-TEF(2006)を用いている。

5 土壌調査結果

土壌について、18 地点（一般環境 10 地点、発生源周辺 8 地点）で年 1 回の調査を実施した。
結果は表 7 のとおりであり、ダイオキシン類濃度の平均値は 0.27pg-TEQ/g、濃度範囲は 0.0030～1.6pg-TEQ/g で、全ての調査地点で環境基準（1,000pg-TEQ/g）を達成した。
また、表 2「令和 6 年度ダイオキシン類に係る全国の環境調査結果」土壌濃度 0～130pg-TEQ/g の範囲内であった。

表 7 常時監視調査結果（土壌（一般環境））

No.	調査地点		調査結果（毒性等量）	
	市町村	所在地	採取日	結果（pg-TEQ/g）
1	海南市	鳥居	R7.10.29	0.075
2	紀の川市	桃山町神田	R7.10.29	1.6
3	かつらぎ町	下天野	R7.10.29	0.0030
4	橋本市	市脇	R7.10.29	0.40
5	有田市	辻堂	R7.10.28	0.23
6	日高町	高家	R7.10.28	0.0066
7	御坊市	島	R7.10.28	0.098
8	田辺市	朝日ヶ丘	R7.10.28	0.34
9	新宮市	徐福	R7.10.28	0.22
10	古座川町	高瀬	R7.10.28	0.024 (二重測定:0.022)

【環境基準　土壌:1,000pg-TEQ/g】

備考:毒性等量の算出には、WHO-TEF(2006)を用いている。

表 8 常時監視調査結果（土壌（発生源周辺））

施設名	調査地点			調査結果（毒性等量）	
	No.	市町村	所在地	採取日	結果 (pg-TEQ/g)
紀の海 クリーンセンター	1	紀の川市	桃山町最上①	R7.10.29	0.22
	2		桃山町神田		1.3
	3		桃山町最上②		0.0096
	4		桃山町最上③		0.92
汚泥再生処理 センター	1	新宮市	神倉	R7.10.28	0.0024
	2		緑ヶ丘		0.14
	3		清水元		0.33
	4		広角		0.71 (二重測定:0.72)

【環境基準　土壌:1,000pg-TEQ/g】

備考:毒性等量の算出には、WHO-TEF(2006)を用いている。